


| | | | | |
|--------|---------------------------|-----------|-------------------|---|
| 【件名】 | 小名木川護岸耐震補強工事（その2） | 【事務所名】 | 江東治水事務所 |  |
| 【工事場所】 | 江東区白河一丁目地内から同区高橋地内まで | 【受注者名】 | 森本・アクアスペース建設共同企業体 | |
| 【工期】 | 平成28年12月27日から平成30年3月23日まで | 【主たる技術者名】 | 監理技術者 阿部 秀策 | |

【工事概要】

本工事は、「東部低地帯の河川施設整備計画（H24.12月東京都建設局）」に基づき、小名木川の高橋から西深川橋間において、既設護岸前面に鋼管矢板による自立式特殊堤を新設し河床を地盤改良することにより耐震補強を行うものであった。

【表彰理由】

工事のPRを積極的に行い、工事に対する地元住民の理解促進に努め、円滑に工事を進めた。また、生コン等の資材搬出入箇所が限定される中、作業帯を工夫し、周辺住民への負担を最小限に留めて施工を行った。工事範囲外での油流出事故の際には、対応を快諾し、速やかに処置を行った。



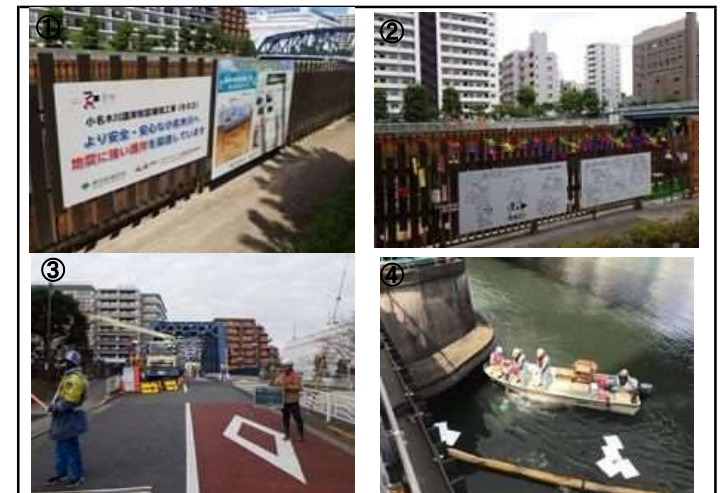
施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
工事箇所周辺は住宅等が密接した環境で、常に周辺住民等の目線を受けながらの施工であったことや、今回工事が小名木川の護岸耐震補強事業の最初の工区であること等から、工事について理解を得ることに苦労しました。
- ◇ 特に工夫した点
工事のイメージを柔らかくし地域に溶け込む工夫として仮設備（フェンス等）に木製資材を採用し、足を止めて工事を見ただけよう掲示物（説明看板等）を多用しました。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
地域住民に声をかけていただき、工事に関する質問を受けて説明をしたり、雑談したことです。また、工事完成時にはねぎらいや感謝の言葉を頂けたのが達成感として印象深いです。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
工事を進める上での技術力のもとより、今自分が行なっている工事の意味や必要性の認識を深めてもらいたい。



①PR看板設置状況
③コンクリート打設時の作業帯状況

②塗絵コーナーや季節の装飾設置状況
④油流出事故への協力対応状況